

ICT 導入協議会（第20回）

議事概要

1. 開催日時：令和7年2月26日（水） 13：30～15：30

2. 場所：WEB 会議

3. 議事：

- | | |
|-------------------------|------|
| （1） 前回協議会におけるふりかえり | 資料－1 |
| （2） 令和6年度の実施状況に関する報告 | 資料－2 |
| （3） ICT施工の技術基準類拡大に関する報告 | 資料－3 |
| （4） その他 | 資料－4 |
- ・ 話題提供
 - ・ 情報共有

（概要） ○ 委員、● 事務局

（1） 前回協議会におけるふりかえり（資料－1）

- 前回協議会（第19回）の委員からのご意見及び回答について説明。

（2） 令和6年度の実施状況に関する報告（資料－2）

- ICT 施工に関する実施状況として前回了承いただいた「ICT 施工におけるロードマップ」に沿って以下を報告

【共通データ環境の整備】

1) 建設現場における施工の見える化促進

- ・ ICT施工 Stage II 試行工事（15件）のうち一部の取組事例を説明。

2) データ共有基盤の整備

- ・ データ共有基盤の整備に向けて「施工データ集約・活用のための第1回スタディグループ（第1回）」の開催状況および今後のスケジュールについて説明。

【ICT 施工普及促進】

1) ICT 施工原則化

- ・ 令和7年度以降の「ICT 土工」「ICT 浚渫工」原則化の移行にあたり変更点を説明

- 遠隔施工に関する実施状況として前回了承いただいた「遠隔施工に関するロードマップ」に沿って以下を報告

【環境整備】

1) 基準類の整備

- ・ 遠隔施工の要領類の整備として、発注者向けの試行要領（案）について説明。

2) オペレータ育成

- ・遠隔操作に関する知識及び技能取得することを目的とした人材育成およびオペレータ育成の取り組み事例を説明。

【ICT 施工普及促進に関する意見】

- ICT 施工に関する積算について、原則化した場合、費用は計上されるのか。
- 原則化に移行しても費用計上は継続していく。

(3) ICT 施工の技術基準類拡大に関する報告 (資料-3)

- ICT 施工工種拡大として、令和7年度からサンドコンパクションパイル工を追加。
- ICT 基準類の見直しとして以下を説明
 - ・ICT 活用工事 実施要領・積算要領の見直し
 - ・3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案) のスリム化
 - ・ICT 活用工事提出書類の簡素化 (精度確認試験結果報告書)
 - ・ICT 活用工事提出書類の簡素化 (出来形管理図表)
 - ・出来形管理の監督・検査要領の統合
- デジタル技術を積極的に活用した、監督・検査等の試行内容を説明。

【ICT 活用工事 実施要領・積算要領の見直しに関する意見】

- ICT 建設機械による施工の積算における保守点検の廃止について、実際に何かトラブルがあった場合、どこに見込めばいいのか。
- ICT 建設機械を取り入れた場合、モニターやセンサーなどの通常建機とは異なる部分における費用を計上することになるが、調査した結果、従来の保守点検費用と差が無いことが確認されたため、通常の建設機械に対する保守点検費用として計上している。

- モバイル端末を活用し計測した場合、機械損料の対象にはならないのか。

- モバイル端末は費用計上の対象にはなりません。

(4) その他 (資料-4)

- 話題提供として以下の項目について報告
 - ・建山委員による話題提供として、「京都府和束町における E C I 方式の発注」及び「和歌山県田辺市におけるデジタルデータの多様な活用事例」についてご報告。
 - ・事務局による話題提供として、「ICT 建設機械等認定制度の拡充」、「設計から ICT 施工へのデータ連携」、「安全技術指針等への ICT 施工等新技術の反映」、及び「中小企業省力化投資補助金」について報告

- ・ 国土地理院による話題提供として、「全国の標高成果の改定」について報告

以上